

多文化共生社会の実現に向けて

① 多文化共生推進プランの策定を提案

本市に居住する外国人は225人（令和5年）で、年々増加しています。日本語を母国語としない人が増え、コミュニケーションや日常生活の面で不便を抱えています。更に、この方たちが、日常生活の不便だけでなく、異なる文化生活習慣の中で相互理解が進まない中、いわれなき差別に苦しんでいます。

このような状況の下で多文化共生社会をつくるために本市が果たす役割は多岐にわたります。多文化交流イベントの開催、教育と啓発活動、市役所内などでの多言語対応サービスの提供、就労支援と経済活動の促進、生活支援と福祉サービスの提供などが必要です。

こうした取組を行うにあたって、いくつかの自治体で「異文化共生推進計画」や「多文化共生プラン」を策定し、様々

な取組が行われています。本市においても「多文化共生推進プラン」を策定して、様々な取組を通して多文化共生社会の実現をめざすことを提案しました。

市長 外国人に対する日常生活における支援については、県の相談窓口の紹介や内容に応じて所管課が連携して対応しております。

また、現在県において多文化共生推進プラン（仮称）の策定に向けて協議中であることから、今後はその動向を踏まえ、本市における外国人の実態やニーズに応じて関係機関と連携し、多文化共生につながる必要な取組を進めるとともに計画策定についても調査研究してまいります。

② 本市ウェブサイトの抜本的改善を提案

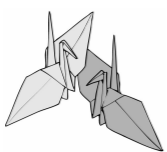


山市のウェブサイトは、市民にとって重要なツールとなっています。各種行政サービスや手続きに関する情報、イベント情報、災害時の緊急情報の提供、財政状況や議会の審議状況を公開することによる自治体の運営の透明性の確保、さら

には各種申請や届出をオンラインで可能にするほか、住民の生の声を届けるという面でも重要なものになっています。こうした面ではですぐれたツールとなっている一方、本市の魅力と価値を対外的に知らせるという点では、改善の余地があります。

本市の魅力と価値を知りたいと思って本市のウェブサイトを開いても、歴史、観光資源などを十分実感できるものとはなっていません。本市のウェブサイトをこれまでの行政サービス等の情報のみならず、歴史・文化など本市ならではの魅力と価値も加え、これに共感する人々を増やす内容に改善することを提案しました。

正確な外国語翻訳機能の整備



本市のウェブサイトは、英語や中国語、韓国語を母国語とする人たちにとっては非常に不便なものになっています。そもそも外国人がKaminoyamaインターネットで検索しても本市の外国語表記ウェブサイトにたどり着くことはできません。英語・中国語・韓国語の表記にたどり着いても、自動翻訳システムによる機械翻訳のため、正確な翻訳にはなっていません。

このように市のウェブページの内容は、本市に観光に訪れたいという人にとっても、あるいは本市に居住しながら災害などの緊急情報が必要な方たちにとっても、正確な内容が伝わらないことから、観光情報の改善や生活面の情報について抜本的な改善を図る必要があります。こうした改善を図り、インバウンドの強化や日常生活の不便さを解消する必要があります。

こうした問題を解決するために、ウェブページの外国語翻訳を専門業者に委託して、文化、歴史、生活の様々な視点から理解を培う内容に改めることを提案しました。

市長 本市のウェブサイトは、基本情報の適切な掲載を重要視しておりますが、歴史的・文化的施設等に関するページについては、より詳細で分かりやすい内容へと改善してまいります。一方で、本市の多様な地域資源や、それら固有の魅力と価値は、身近な市民活動にスポットを当てながらシティプロモーションサイトを通じて発信しております。今後も本サイトの積極的な活用と周知を図り、本市に興味・関心を持ち共感する方々が増えるよう努めてまいります。

外国語翻訳機能の整備については、インバウンド需要や外国人労働者が増加している情勢からその重要性を認識しておりますが、翻訳の精度や提供すべき情報量、経費等を総合的に考慮する必要がありますと捉えております。現在、精査を進めているところでありますので、これらを踏まえ、誰もが本市を訪れやすく、住みよいまちと感じられるような情報発信に取り組んでまいります。